精強な消防隊員の育成を目指して

釧路管内消防事務組合連絡協議会　救助訓練

ものすごいスピードで登る「はしご登はん」

すばやい救助を行う「ほふく救出」

水平のロープを渡る「ロープブリッジ渡過」

釧路管内消防事務組合連絡協議会（会長・釧路東部消防組合湊谷政弘消防長）主催による救助訓練が7月1日、弟子屈消防署で行われ、釧路東部消防事務組合、釧路北部消防事務組合の隊員28人が参加しました。

この救助訓練は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全道消防救助技術訓練指導会が中止となったことを受け、令和2年度から開催されているもの。救助活動における体力、精神力、技術力を競う合同の訓練として実施されています。今年は同指導会が3年ぶりに開催されることから、各組合の首長査閲もかねて、日頃の訓練成果を披露する場となりました。

実施種目として、往復40㍍のロープを渡る「ロープブリッジ渡過」、15㍍のはしごを登る「はしご登はん」、3人一組で狭いトンネルの先に居る人を救助する「ほふく救出」の3種目が行われました。それぞれの種目では、安全性、確実性や所要時間で審査が行われました。

「ロープブリッジ渡過」では、鶴居消防署の渋谷瑛一消防士、「はしご登はん」では、標茶消防署の熊谷雄斗消防士、「ほふく救出」では、厚岸消防署の藤谷直人士長、高橋達汰消防士、金子凌大消防士の組が、それぞれ優勝しました。

釧路北部消防事務組合の高田消防長は「若い職員の精神力・技術力の向上を目的に、継続して開催していきたい」と話していました。

町の話題 CT CloseUp Topics

釧路川ふれあい広場に賑わい

釧路川ふれあい広場 オープニングセレモニー
摩周の里　夏まつり

３年生による「Planet tour」

1年生による「RAMPAGE」

2年生による「Cast a spell」

華やかな演舞を披露

会場に響いた吹奏楽

テープカットでオープンをお祝い

昨年完成した「釧路川ふれあい広場」で、オープニングセレモニー（町主催）と摩周の里 夏まつり（同実行委員会（近江屋茂実行委員長）主催）が、7月16日に開催されました。

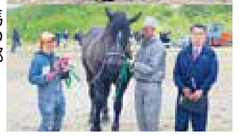
セレモニーには約50人が出席し、テープカットでオープンを祝いました。

夏まつりは3年ぶりの開催。屋台の出店はありませんでしたが、缶けりなどのイベントや、陸上自衛隊第5旅団第5音楽隊、町内小・中学校による吹奏楽の演奏、釧路寿子供蝦夷太鼓保存会の演奏、I&Mバトンスタジオによる演舞、同日に学校祭を開催した弟子屈高校の生徒による各学年のアトラクション披露などが行われ、会場は大いに盛り上がりました。

6月11日

自慢の牛馬を競い合う
第68回弟子屈町家畜共進会を開催

乳牛の部


馬の部

町とJA摩周湖共催の第68回弟子屈町家畜共進会が６月11日、町家畜共進会場で開催され、乳牛の部には６戸の酪農家から26頭が、馬の部には３戸の馬産農家から８頭出陳され、盛大に行われました。

主な審査結果は、次のとおりです。

■乳牛の部　▷グランドチャンピオン／インレット MS コットン エイデイーン（江上和彦さん所有）▷R・グランドチャンピオン／メドーブリッジ ドアマン ヒロイン(株)メドーブリッジホルスタインズ所有）▷ジュニアチャンピオン／ブライトランド HL キングドック マーゴット ET（坪井泰憲さん所有）▷R・ジュニアチャンピオン／ハッピーランド デンバー エレアザール（吉田雄貴さん所有）

■馬の部　▷最優秀賞／バリス姫（長谷川義信さん所有）

6月13日

育てるのが楽しみ
果樹の苗木を無料配布

じっくりと苗木を選ぶ皆さん

苗木の無料配布会が６月13日、役場前と川湯支所前で行われました。弟子屈町緑化推進委員会（会長・徳永町長）主催によるもので、町内の緑化推進を目的に毎年行われています。今回配布されたのはアンズとプラムの２種類で、寒さに強く丈夫で、実も楽しめるそうです。訪れた皆さんはじっくりと選定し、お気に入りの苗木を見つけて持ち帰りました。

会場では緑の募金も行われ、集まった方々が募金に協力していました。

6月11日

地場産のお菓子などでお出迎え
くしろ湿原ノロッコ号が川湯温泉駅に入線

にぎわう駅の構内

JR北海道が４月から運行する「くしろ湿原ノロッコ号」が６月11日、川湯温泉駅に入線しました。

くしろ湿原ノロッコ号は、釧路駅から塘路駅まで運行されていますが、この日は川湯温泉駅まで延長運行され、200人以上の方が車窓から雄大な自然を楽しみました。

川湯温泉駅では、町民の方やJA摩周湖のキャラクター牛山豚彦が出迎え、ノロッコ号を見ようと多くの観光客の方も訪れました。駅の構内では地場産のお菓子などの販売や、近場の観光名所などへも行けるようレンタルサイクルなども行われ、たくさんの人たちでにぎわいました。

6月25日

援農への思いをつなぐ
「援農の碑」記念式を開催

感謝を込めて

太平洋戦争中の1945（昭和20）年、北海道援農勤労報国隊として本町に派遣された岩手県久慈農林学校（現・久慈東高校）の生徒をたたえる「援農の碑」記念式が６月25日、摩周観光文化センター敷地内にある同碑前で行われました。

同碑は、生徒たちの功労を忘れず感謝していこうと1989年６月25日に建立。同碑前での式典は、関係者で組織する「６・25会」が中心となって毎年６月25日に行っています。先人たちが愛した「北上夜曲」に思いを込めて、参列者の斉唱が響きました。今年は町内の関係者７人が出席し、生徒たちの功労や苦労に思いをはせました。

6月23日

温泉や食文化を楽しむ
ONSENガストロノミーウォーキング開催

温泉街を歩く皆さん

（一社）摩周湖観光協会が主催する「ONSENガストロノミーウォーキング」が６月23日、川湯温泉で開催されました。地域特有の「食」「自然」「文化・歴史」を楽しむことを目的に開催されているもの。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため参加者を限定し、同日に川湯温泉で開かれた北海道ホテル旅館生活衛生同業組合青年部北海道ブロック大会に出席した約50人を対象に実施されました。大鵬相撲記念館や温泉川などを散策し、川湯温泉の魅力を体感しました。夜には700発の花火が打ち上げられ、川湯温泉の夜空を鮮やかに彩りました。